

CTI PFAN アフリカ・
クリーンエネルギー・
ファイナンス・フォーラム
(AFRICEF-2)
事業計画コンペティション



応募締め切り
2011年9月26日

- 1 はじめに
 - 2 コンペティション・ガイドライン
 - 3 選考基準
 - 4 スケジュール
 - 5 産業エキスパート
 - 6 審査員
 - 7 表彰
 - 8 よくある質問
 - 9 関係実施機関
- 参加申請書

スポンサー及び実施関係機関

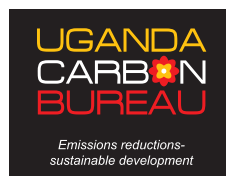
資金提供者:



協力機関・イベントパートナー:



管理運営:



1. はじめに

「世界は今、エネルギー需要の急増、温室効果ガスの排出増加、資源供給の逼迫という複合的な難題に直面しており、世界規模でのエネルギー技術革新が求められている。それは実現可能なものではあるが、乗り越えるべき壁は高く、単一のエネルギーあるいは技術で解決できるものではない」

2008年6月
国際エネルギー機関(IEA)
事務局長 田中伸男

我々と同様に、環境保全に熱意を抱く方々が多数いることでしょう。将来の環境問題を方向付けることができる聡明で革新的な構想を持ち、それを前進させ具現化するのあなたかもしれません。

公益財団法人 国際環境技術移転センター(International Center for Environmental Technology Transfer、以下「ICETT」)は、経済産業省の補助事業「地球環境国際研究推進事業」の一環として、CTI PFANアフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム(AFRICEF-2)事業計画コンペティションを、2012年2月17日(金)に南アフリカ・ヨハネスブルグにて開催いたします。本コンペティションは、有益な環境提案を行う起業家、新興/既存企業、プロジェクトチーム並びにコンソーシアムなどを育成し、彼らを投資家と結び付け事業の実現化を目指します。

AFRICEF-2事業計画コンペティションの二次選考に進むチームは、財務、社会、環境面において有望な事業計画を作成するための個別指導を受けます。そして、ヨハネスブルグで開催されるフォーラムで資金調達の要となる事業計画を投資家向けに発表する機会を得ます。よりクリーンでグリーンなプロジェクトに関心を持つ投資家、産業スペシャリスト、企業経営者から構成される審査員によってCTI アフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワードを表彰される最優秀案件が選定されます。

以上の過程を経て、事業開発者と投資家とのマッチングを促進することがAFRICEF-2の狙いです。事業構想をさらに進化させ、本フォーラムを事業実現のための有効な機会としてご活用ください。

AFRICEF-2事業計画コンペティションのスポンサーは、気候変動防止技術イニシアティブ(Climate Technology Initiative/CTI)、CTI民間資金調達支援ネットワーク(Private Financing Advisory Network/PFAN)、再生可能エネルギー・エネルギー効率パートナーシップ(Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership/REEEP)、米国国際開発庁(United States Agency for International Development/USAID)及びICETTです。また、モザンビーク・エネルギー基金(Fundo de Energia, Mozambique:FUNAE)、ウガンダ・農村部開発庁(Rural Electrification Agency, Uganda/REA)、ウガンダ・民間セクター基金(Private Sector Foundation Uganda/PSFU)、南アフリカ・国立エネルギー開発研究所(South Africa's National Energy Development Institute/SANEDI)等、現地パートナーの協力のもと開催されます。

2. コンペティション・ガイドライン

資格要件

アフリカ地域に拠点を置く、もしくは積極的に活動を実施し、登記している個人や企業等。同地域を拠点にした外国籍の個人や企業等による事業案件も対象となる。本年のコンペティションは以下の地域からの応募が優先的に考慮される。

- ・ SADC(南部アフリカ開発共同体)加盟国
- ・ EAC(東アフリカ共同体)加盟国

地域内のその他各国も対象となり、西アフリカからの応募も奨励される。

事業の対象分野・技術

対象事業・プロジェクトはクリーンエネルギーに関する技術や製品、サービスを提供するものとし、例として以下の分野が挙げられる。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| - バイオマス | - 森林 |
| - バイオガス | - 農村部電化 |
| - バイオ燃料 | - 分散型発電、オフ・グリッド(非送電網系)発電 |
| - 太陽光 | - 蓄エネルギー、保全 |
| - 風力 | - エネルギー効率 |
| - 地熱 | - 廃棄物からのエネルギー生成/回収 |
| - 水力 | - 排出削減 |
| - 潮力/波力(海洋) | - クリーン輸送 |

事業規模

原則として、(初期)投資が100万米ドル以上(又は相当する他通貨額)での事業案件とする。

応募事業内容

事業案件は以下の内容に沿うものとするが、これらに限定されない。

- ・ グリーンフィールド及びブラウンフィールドにおける公共施設プロジェクトと分散型発電プロジェクト
- ・ 新規ビジネス/ベンチャー
- ・ 川下(下流)事業:既存のクリーンテクノロジーの展開
- ・ 川上(上流)事業の開発:新クリーンテクノロジーの開発と商業化
- ・ 既存のクリーンエネルギー/テクノロジー事業に価値を付加する合併、買収、ジョイント・ベンチャー

事業計画にはプロジェクトが商業的及び技術的に実行可能であることが明示されていなければならない。

機密情報と守秘義務

実施機関は参加者の事業コンセプト及び計画についてその機密性を尊重し、それらをコンペティションで使用する以外の目的で複製することはない。審査員においても提出資料の守秘義務を認識し、同等の配慮が求められる。

参加チームにおいては、それが法的拘束力を有する合意でないことを承知の上で、提出物の表紙に下記の免責条項を記載できる。

「本事業計画は部外秘であり、CTI PFANアフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFRICEF-2) 事業計画コンペティションにおける評価目的のためにのみ提示される。本計画内容の全体若しくは一部を複製、再配布してはならない。本計画の受領者は、作成者の事前の書面による同意なく本計画内容を複製又は第三者に開示しないことに合意する」

当フォーラム、事業計画コンペティションの参加予定者がアドバイザー、主催者及び/又は審査員に守秘義務契約への署名を求めた場合、主催者はこうした依頼について理解を示すが、慣例及び実用性の観点から、AFRICEF-2の一環として署名することはない。

参加申込みと必要書類の提出

全ての提出物は電子媒体とする。個々のファイルサイズは容易に送受信できるよう配慮すること。情報セキュリティと真正性のため、ファイルはPDF形式、財務モデルはエクセル形式での提出が望ましい。

必要書類:

- ・ 参加申請書（ワード又はPDFファイル）
- ・ 事業提案書（ワード又はPDFファイル）
- ・ 事業データシート（エクセルシート）

3. 選考基準

第一次選考:事業提案書の提出

全応募者の中からCTI PFANが設定した下記の審査基準に基づき、約20案件が選考され事業開発、事業計画の構成、デザインやプレゼンテーションに関する助言、指導を無償で受けることができる。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案とビジネスモデル: - 事業計画の主目的、事業の合理性が明確に説明されているか - 投資提案が明確に説明されているか - 商業化と収益化が可能か - ビジネス/プロジェクトモデルが明確になっているか - ビジネス/プロジェクトモデルの複製可能性とスケーラビリティ(拡張性)	15%
2	市場理解及び分析: - 市場について十分な分析、考察がなされているか - 市場規模、傾向、障害や見通しなどについての分析と知識 - 競争戦略や事業の強み、弱み分析	12.5%
3	経営・運営チーム: - 関連した経験や実績を有しているか - 組織構成	12.5%
4	運営・実施計画: - バリューチェーン(価値連鎖構造)が構築されているか - 出と入に関するロジスティックスが明確か - 製造活動の質や効率性について管理されているか、インプットを最終製品に変換する活動について詳細な分析がなされているか	10%
5	財務: - 資本支出、収益、経費の概観 - 仮定に対する説明 - 資金調達構造案について - 財務見通しとシナリオ分析 - 出口戦略	15%
6	リスク緩和戦略: - 主要リスクの想定が出来ているか、それに対する適切な緩和策は明確化されているか	10%
7	環境や開発に対する利点: - 温室効果ガス(GHG)排出削減 - その他の環境面、開発面における利点(雇用機会創出、健康促進、等)	10%
8	プロジェクトの成熟度: - プロジェクトの成熟度合いと事業化までに要する時間 - これまでの成果	5%
9	技術、製品、サービスの革新	5%
10	プロフェッショナル性とプレゼンテーション: - 文書の構成とアピール性 - 読みやすさ、理解しやすさ	5%
計		100%

第一次選考では事業提案の成熟度ではなく、成功の可能性が重視される。技術的に実現可能ではあるが、事業の方向性が確立されていない案件を特定することに関心が向けられる。またプロフェッショナル性においては劣るが、十分な支援を得られれば将来性があると思われる事業計画についても同様である。

第二次選考:事業計画書草案

第一次選考通過案件は事業開発と資金調達能力向上を目的としたワークショップに参加し、アドバイザーによる助言、指導のもと事業計画を更に発展させる。指導内容はフォーラムでの発表を想定し、各事業案件に求められる具体的要件に焦点をあて考案される。

各チームは、指導期間中、ワークショップ後に事業計画書草案を提出しなければならない。担当アドバイザーはフォーラムでの発表にふさわしいか否かについて評価する。事業計画書草案の評価及びアドバイザーの推奨を基に、案件は更に最終選考案件と準選考案件に振り分けられるが、投資家、審査員向けにフォーラムでプレゼンテーションを行う発表権は、最終選考案件にのみ付与される。準選考案件は事業計画の更なる発展に向け継続的に個別指導を受け、フォーラムにて紹介されることになる。

最終選考のための審査基準は以下のとおり。

NO.	審査基準	配点
1	価値提案及び事業計画	10%
2	事業計画実行のための準備状況	10%
3	市場分析及び競争優位性	10%
4	管理スキル	15%
5	技術上、運営上の実現可能性	15%
6	経済面での利点	15%
7	リスク緩和戦略	15%
8	産業エキスパートからの意見	10%
計		100%

本審査段階においては下記項目を満たしているかを考慮しつつ、事業計画を最終的に評価する。

- ・ 準備状況
- ・ 経済面での利点
- ・ 高い需要が見込める市場の特定
- ・ 競争優位性
- ・ 経営陣の姿勢及び/又は必要事項の明確な認識
- ・ 健全な投資構造と投資家のための潜在的出口戦略
- ・ 付随するリスク、脅威及び機会についての十分な考慮

最終選考: フォーラムでの事業計画発表

フォーラムでは、最多10件の最終選考案件が投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行う。審査は下記の基準に基づいて行われ、受賞者が決定する。

NO.	審査基準	スコア 1-10
1	市場の明確化及び知識	
2	製品またはサービスの明確化 - 価値提案 - 革新性と知的財産	
3	収益創出戦略、成長戦略の信頼性	
4	経営陣に対する信頼性及び実行計画（マーケティング計画と運営戦略）の達成可能性	
5	財務予測の信頼性 - 資産支出と仮定の信頼性 - 収益計画達成の可能性 - シナリオ分析の現実性	
6	競争優位性の識別、実行及び保護 - 主要リスクと機会の識別 - 知財の保護 - 競争環境に関する認識	
7	リスク緩和策の妥当性と有効性	
8	事業/プロジェクト成功のための重要要素へのフォーカス	
9	環境や開発に対する利点等	
10	投資家のための出口戦略の明確化とその可能性	
計		

事前審査と準備のため審査員にはフォーラムの数日前に事業計画書が配布されるが、当日の審査では主としてプレゼンテーションとその直接的インパクトに重点が置かれる。各々のプレゼンテーション後、審査員による質疑応答が続く。

4. スケジュール

コンペティションのスケジュールは下記のとおり。

段階	必要書類	提出期限	通知
1. 事業提案書の提出及び第一次選考	- 参加申請書、 - 事業提案書、 - 事業データシート	2011年9月26日	2011年10月14日
2. 個別指導、事業計画プレゼンテーション及び最終選考	事業計画書草案	2011年12月12日	2011年12月21日
	- 第二次事業計画書案、 - 同 事業概要書、 - 事業データシート最終版	2012年01月11日	
	プレゼンテーション資料の草稿	2012年01月18日	
3. フォーラム	- 最終版事業計画書、 - 同 事業概要書、 - 更新済事業データシート	2012年02月1日	
	最終版プレゼンテーション資料	2012年02月17日	

第一段階: 事業概要書の提出

参加申請書、事業提案書、エクセル事業データシートは2011年9月26日(月)24時(中央アフリカ時間)までに kim@icett.or.jp 宛てに提出すること。必要書類のテンプレート並びに提案書作成のためのガイドラインは、以下のサイトからダウンロード可能。[http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=35]

一次選考通過チームに対しては2011年10月14日(金)までに通知する。通知直後に関係実施機関は選考通過者に担当アドバイザーを割り当て次段階に向けて準備に入る。

第二段階: 個別指導と事業計画書の作成

本段階では投資家に提示可能な事業計画書を作成するために、CTI PFANの担当アドバイザーが一次選考通過チームに個別指導を実施する。個別指導は無償で最長4日間(32時間)提供される。

一次選考通過チームは2011年12月12日(月)17:00(中央アフリカ時間)までに事業計画書草案を提出することとする。計画書には最低限下記詳細が含まれていることが望ましい。

1. 価値提案とビジネスモデル
2. 市場理解、市場分析
3. 組織体制
4. 運営・履行体制
5. 会計・財務
6. リスク緩和策・管理
7. 出口戦略

事業計画書作成のためのガイドラインはワークショップで入手可能。

ワークショップ

一次選考通過チームはワークショップへの参加が認められる。アフリカ各地域の開催予定日は以下のとおり。

- ・ 西アフリカ: 2011年11月11日(金)
- ・ 東アフリカ: 2011年11月15日(火)
- ・ 南アフリカ: 2011年11月18日(金)

ワークショップへの参加は無料。

提出された事業計画書草案と担当アドバイザーの推奨により、最多10チームまでが最終選考に残りヨハネスブルグで開催されるフォーラムで投資家、審査員向けにプレゼンテーションを行う。フォーラム参加においては、各チームに対して1名分の宿泊費、旅費が支給される。一次選考を通過した全チームがフォーラム当日までの間、継続して個別指導を受けることができる。

最終選考チームは2012年1月11日(水)17:00(中央アフリカ時間)までに第二次事業計画書案、同事業概要書並びに最終版の事業データシートを提出するものとする。

最終版事業計画書と2-3ページ内の事業概要書の提出期限は2012年2月1日(水)とする。これらの提出物は2012年2月3日(金)に審査員に送付される。

第三段階:フォーラム

2012年2月16日-18日にヨハネスブルグで開催されるフォーラムの詳細スケジュールは以下のとおり。

一日目:準備ワークショップ

ワークショップはCTI PFAN担当アドバイザーと投資エキスパートによる指導で実施され、二日目の本番を想定した模擬プレゼンテーションを行う機会を与えられる。最終選考チームは最終版のプレゼンテーション資料を完成させる。

二日目:ファイナンスフォーラム

最終選考チームは投資家向けに15分以内のプレゼンテーションを行う。このプレゼンテーションは当該事業に関心を持つ投資家並びにCTI アフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を選考する審査員向けに行われる。

審査結果は同日夕刻に発表され、表彰式においてアワードが授与される。

コンペティションの第三段階に参加した全チームがこの表彰式に招かれ、投資家と非公式に交流を深めることができる。第二段階の選考に漏れた準選考チームも実施関係機関の裁量によりフォーラムに招かれる場合がある。

三日目:投資家との個別面談

投資家に関心を示した最終選考チームには個別面談の機会が与えられ、商談を交わす。

5. 産業エキスパート/アドバイザー

一次選考通過チームに対する支援:

- ・ 最長4日間(32時間)、又は関係実施機関と担当アドバイザー間で協議された金額の個別指導
- ・ 個別指導は、CTI PFANネットワーク(参照 www.cti-pfan.net)に参画する産業エキスパート、コンサルタント、アドバイザーにより実施される。担当するアドバイザーはクリーンエネルギー市場において国際的にもアフリカ地域でも豊富な経験を有する。
- ・ 個別指導は電子メールや電話会議によって実施するが、コンペティションの第二、第三段階における対面会議を確保するための資金も用意されている。更に、ワークショップではグループ指導も提供される。

6. 審査員

審査員は地元の事業環境に精通した産業エキスパート、投資家等によって構成される。適格性と客観性確保のため、また利害の衝突を回避するため、審査員は事業計画コンペティション参加プロジェクトの選考終了後に指名、発表される。

7. 表彰

CTI アフリカ・クリーン・エネルギー・ファイナンス・アワードは審査基準に最も適した3事業案件に授与される。フォーラムに参加した全チームは事業計画促進と資金確保に向け、継続してCTI PFANの支援を受けるため、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインに導入される。また、表彰された3案件は最終段階に向けた事業計画の進展、資金調達、または商談促進のため更なる集中個別指導を受け、最終的には他のフォーラムや、CTI PFAN又はスポンサーや協力機関が催すイベントにて紹介されることになる。

8. よくある質問

1. AFRICEF-2 事業計画コンペティションはどのように開催されるのですか。

- ・ CTI PFANアフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・フォーラム (AFRICEF-2) 事業計画コンペティションは、気候変動防止技術イニシアティブ (Climate Technology Initiative/CTI)、CTI 民間資金調達支援ネットワーク (CTI Private Financing Advisory Network/CTI PFAN)、再生可能エネルギー・エネルギー効率パートナーシップ (Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership/REEEP)、米国国際開発庁 (U.S. Agency for International Development/USAID)、公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer/ICETT) がスポンサーとなり開催されます。また、CTI PFAN グローバルコーディネーター/アフリカ地域コーディネーターとしてPPLインターナショナル (PPL International) も事業概要の募集並びに第一、第二段階選考過程においてCTI/ICETTに協力しています。PPLインターナショナルは参加チームに対し、的確な支援を提供するために尽力しています。
- ・ 事業提案書、事業計画書、その他提出物の評価はCTI PFANネットワークのメンバーとアフリカ域内外の産業界からの選出者によって行われます。これらの個人の多くはコンペティションに参加するチームの個別指導にあたります。CTI/ICETTは各段階における最終選考チームに対して、PPL率いる評価チームの推奨に基づき最終承認を与えます。
- ・ ヨハネスブルグで開催されるフォーラムは、モザンビークのエネルギー基金 (Fundo De Energia/FUNAE)、南アフリカのエネルギー開発研究所 (South Africa National Energy Development Institute/SANEDI)、ウガンダの農村部電化庁 (Rural Electrification Agency/REA)、同じくウガンダの民間財団法人である民間セクター基金 (Private Sector Foundation Uganda/PSFU) 等、現地パートナーの協力のもと開催されます。
- ・ 5名の審査員はフォーラム二日目に各チームのプレゼンテーションを聞き、CTI アフリカ・クリーンエネルギー・ファイナンス・アワード受賞者を決定します。

2. 事業提案書作成のためのガイドラインはありますか。

はい。 http://www.cti-pfan.net/events_detail.php?eventsid=35 よりダウンロードできます。

3. 個別指導サービスはどのように手配されるのでしょうか。

実施関係機関が参加チームの必要要件を考慮した上で適切なアドバイザーを各チームに割り当てます。指導料は実施関係機関が負担します。

4. 諸費用及び旅費の負担について教えてください。

- ・ AFRICEF-2への応募、参加のための準備、それに伴う成果物の提出や通信に関わる費用は、全てチームの負担とします。
- ・ 個別指導を行うにあたり、事前合意されている第三者費用は3の説明にある通りです。
- ・ ヨハネスブルグでのフォーラムに招待されている場合、その移動費用及び宿泊費用については最終選考に残ったチームと相談の上で実施関係機関が手配します。

5. 事業計画コンペティションに参加することのメリットについて教えてください。

- ・ 一次選考通過チームは担当アドバイザーの指導を受けることにより、事業計画の質を高め、投資家向けのプレゼンテーションに備えることができます。
- ・ 個別指導にあたる者は特に関連市場、事業計画の準備や資金調達において豊富な知見を有しています。全ての参加者は彼らの知識と経験を享受できるメリットがあります。
- ・ 一次選考通過チームは専門家の徹底した指導、情報、知見を無償で享受でき、事業計画開発とプレゼンテーションスキルの向上につなげることができます。
- ・ フォーラム二日目にはアフリカのクリーンエネルギー分野で活躍する投資家が集います。投資家とのネットワーキングの場が準備され、事業開発者は投融资を受ける機会を得ます。個別面談は実施関係機関がプレゼンテーションの結果、必要に応じて進めていきます。
- ・ 事業計画コンペティションに提出された全ての事業提案書について、CTI PFAN開発支援プロジェクトパイプラインへの導入が考慮されます。導入された事業は事業開発と事業計画プレゼンテーションに対する支援及び助言を継続して受け、更にCTI PFANの投資家ネットワークに紹介されることになります。

6. プレゼンテーションにおいて、事業計画を補足するために他の手段を使用しても良いでしょうか。

第二次選考においては事業計画内容を補足するためビデオなど他の手段を使用することもできます。しかし、ヨハネスブルグでの審査員向け最終プレゼンテーションで各チームに割り当てられた時間は限られており、審査においては事業計画の信頼性をどれだけ審査員に納得させたかという観点から評価が行われます。このため、プレゼンテーションのフォーマットや時間には細心の注意を払い、補足資料として、必要枚数以上のPowerPointスライド(又は他の媒体)は使用しないようにしてください。

9. 関係実施機関

今回、共催した機関の概要は次のとおりである。

気候変動防止技術イニシアティブ (Climate Technology Initiative/CTI):

CTIは1995年の国連気候変動枠組条約(UNFCCC)第1回締約国会議(COP1)において、国際エネルギー機関(IEA)/OECD加盟国及び欧州委員会によって設立された、多国間による国際連携イニシアティブであり、2003年にはIEAの実施協定として位置づけられた。CTIの意思決定は、加盟国代表メンバーで構成される執行委員会(CTI Executive Committee)において行われ、現議長国にはスウェーデン、副議長国には日本及び米国が就任している。プログラム・マネージャーは東洋大学の久留島守広教授に、また、国際事務局は(公財)国際環境技術移転センターに委任されている。加盟国はオーストラリア、オーストリア、カナダ、フィンランド、ドイツ、日本、ノルウェー、韓国、スウェーデン、英国、米国の11ヶ国。www.climatetech.net

CTI民間資金調達支援ネットワーク (Climate Technology Initiative Private Financing Advisory Network/CTI PFAN):

実効性の高い取組みとして期待されるCTI PFANプログラムは、UNFCCCの技術移転専門家グループ(EGTT)との協力でCTIにより設立された官民パートナーシップであり、クリーンエネルギー/再生可能エネルギー/エネルギー利用効率化プロジェクトに携わる事業開発者及び起業家による資金調達機会を拡げ、開発途上国及び経済移行国への技術移転を促進する。CTI PFANネットワークは民間金融機関、プロジェクトファイナンス専門家、非営利組織、多国間組織、政府組織から構成されており、開発途上国における気候変動対策プロジェクトに係る投資、ファイナンスサービス提供のノウハウを参加前提条件として有している。CTI PFANはプロジェクトのスポンサー及び開発者に対し様々なサービスを提供し、民間直接投融資の確保を支援する。www.cti-pfan.net

公益財団法人 国際環境技術移転センター (International Center for Environmental Technology Transfer/ICETT): 1990年に我が国の環境保全システムを円滑に移転していく機関として産・官・学の協力によって三重県四日市市に設立された。環境関連技術及び環境保全策等を開発途上国に移転することを目的とする。そのために、研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発などの取り組みを行っている。ICETTには2003年からCTIの国際事務局が設置されCTI PFANの組織運営に必要とされる支援業務も遂行している。本フォーラムは経済産業省の支援によりICETTが実施している「地球環境国際研究推進事業」の一環として開催される。www.icett.or.jp

再生可能エネルギー・エネルギー効率パートナーシップ (Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership/REEEP):

2002年に設立されたオーストリアに国際事務局を置く国際NGO。再生可能エネルギー及びエネルギー効率化のための市場拡大促進を目的とした官民共同、マルチステークホルダーによる多国間パートナーシップ。REEEPは特に新興市場や発展途上国で増大するエネルギー需要とその一方でCO2排出抑制を見据えた、再生可能なエネルギーへの転換促進(政策等の支援を含む)と、エネルギー効率改善のための技術支援、資金的支援活動を実施している。REEEPは南アフリカ、モザンビーク、ウガンダにおけるCTI PFAN活動のための資金提供を行っている。www.reeep.org、www.reeegle.info

米国国際開発庁 (United States Agency for International Development/USAID):

アメリカ合衆国のほぼすべての海外援助を行う政府組織で長期且つ公正な経済成長の促進を目指す。持続可能なエネルギー・イニシアティブ、保健衛生、民主化、紛争解決、人道支援などに焦点をあてた経済成長、農業開発、貿易振興を援助の柱としている。USAIDはワシントンDCにある経済成長・農業・貿易局(Bureau for Economic Growth, Agriculture, and Trade/EGAT)とタイ・バンコクに拠点を置くアジア地域開発ミッション (Regional Development Mission for Asia:RDMA)を通じてCTI PFANを支援する。RDMAはアジア地域におけるCTI PFANのコーディネーターである。www.usaid.gov

PPLインターナショナル (PPL International):

CTI PFANのグローバル・コーディネーターであり、発展途上国でのクリーン/再生可能エネルギープロジェクトに特化した資金調達に関するアドバイザーでアフリカ、アジア、CIS及び東欧で活動する。www.ppl-int.com

ウガンダ・カーボン事務局 (Uganda Carbon Bureau/UCB):

2006年4月に設立された、カーボンファイナンス(炭素金融)に関しては東アフリカにおいてフルサービスを提供する唯一の組織。ボランティア市場及びコンプライアンスカーボン市場において、プロジェクト開発者、カーボンクレジットバイヤー、開発エージェント、投融資家、公的機関に対して、多様な金融サービスを提供し、炭素資産開発を支援する。UCBはウガンダにおけるCTI PFANのコーディネーターである。www.ugandacarbon.org

ヴェルデ・アズールコンサルタント (Verde Azul Consult Lda/VA):

モザンビークに拠点を置くコンサルティング会社で、1999年にマプトで設立された。環境、応用社会経済調査、民間セクター企業開発、コミュニティ参加の促進といった分野に特化した開発関連サービスを提供する。VAはモザンビーク情勢に精通しており、環境、エネルギー、農業、保健、土地問題、貿易と産業などの主要分野でモザンビーク政府との協力関係を築きあげてきた。

ウガンダ・民間セクター基金 (Private Sector Foundation Uganda/PSFU):

ウガンダ国内の経済開発促進並びに国際競争力強化のために民間企業を支援する団体として1995年に設立された。政府や国際機関(世界銀行等)からの技術的支援並びに資金的支援の橋渡し役を担っており、支援事業の中には地方の電化による事業機会創出といったものもある。現在、会員企業は144社である。www.psfuganda.org

モザンビーク・エネルギー基金 (Fundo de Energia, Mozambique/FUNAE):

モザンビーク・エネルギー省下の公的な電力基金団体で、財務省、農務省、商務省とも統合している。持続可能な社会・経済開発のために、製造業のみならず流通業等様々な事業者に対するエネルギーへのアクセス推進を、技術普及やローン提供などの資金的側面から支援している。FUNAEは公共電力が届かない地域で活動し、太陽光発電、バイオマス発電、小型水力資源、燃料配分、小型グリッド、電力の生産的利用を通じて、地方電化も促進している。www.funae.co.mz

ウガンダ・農村部電化庁 (Rural Electrification Agency/REA):

2003年7月に設立されたウガンダ国エネルギー・鉱物開発省下の組織で、官民のパートナーシップにより農村部の電化を促進することを目的に設立された。主な責務は1)農村電化、再生可能エネルギー生成のための公共/民間投資のプランニングとパッケージング、2)優先農村電化プロジェクトの実施、3)民間投資のための助成金の管理、4)農村電化に関する統計の管理、5)エネルギー・鉱物開発省の農村電化政策に関する助言業務。www.rea.or.ug

南アフリカ・国立エネルギー開発研究所 (South Africa's National Energy Development Institute/SANEDI):

鉱物・エネルギー大臣の認可で2004年10月に国立のエネルギー供給会社である OEF (Pty) Ltd. の補助機関として設立された、エネルギーに係る調査研究、政策的戦略立案、開発、実証等を行う公益的な団体である。増大する国内のエネルギー需要に対して科学・工学的に研究を行い電力業界にも協力しているほか、未開拓分野のエネルギーの開発、国内の若手エネルギー研究者の支援なども行っている。研究課題には化石燃料の燃焼技術向上などもある。SANEDIの政治的、戦略的な方向性を定めるため科学技術省、鉱物・エネルギー省が支援している。www.saneri.org.za

AFRICEF-2 Application Form



I/We, hereby indicate our interest to participate in the Africa Forum for Clean Energy Financing (AFRICEF-2) and Business Plan Competition. In submitting this application we acknowledge the general terms and conditions of the Forum and Competition as outlined in the guidelines.

Team Name: _____

Project Proposal Title: _____

Project Location: _____

Signed on behalf of the team by on (date) _____

Name & Date: _____

Application for the CPI PFAN Africa Forum for Clean Energy Financing (AFRICEF-2) Business Plan Competition by **26th September 2011**. Submission of the **Application Form together with the Project Proposal and Project Data Sheet** should be made by mail to kim@icett.or.jp

For more information about the competition details, please contact:

LYNNE BYABA
lynne.byaba@ppl-int.com

KUME KIM
kim@icett.or.jp